

吉田町吉田地区 除雪について

Q366

民谷自治会は高齢化が進み、地区内の除雪がなかなかできない。特に道路については顕著で、月曜日仕事に出るのに困難な場合がある。若者の流出の原因にもなる。

A：業者オペレーターの高齢化や公共事業の削減もあり苦慮しています。

しかし、支障のないよう職員がこまめに現場を巡回し、根雪にならないように除雪するようにしております。生活に支障が出ないように努めていますが、次年度の除雪計画に意見を寄せていただきたい。
(吉田総合センター)

掛合町波多地区 市民バス等の利用について(夏休み期間中の公共交通)

Q367

波多は市民バスが通っていないため、キョロパスが使えない。だんだんタクシーがあるが、土日は運行していない。波多、入間からの便がないので考慮していただけると、土日も子供たちも出かけられる。親も送迎はそうできない。

A：夏休みについては、平日はデマンドタクシー(だんだんタクシー)が走っています。土・日については今後検討します。(教育長)

Q368:[関連質疑]

平日はだんだんタクシーを使って行けということか？

A：キョロパスは市民バスだけで、現在だんだんタクシーは対応していませんので今後利用を検討したいと考えます。ただ土日は走っていないので、併せて検討します。市民バスとだんだんタクシーは委託先が違うので協議が必要です。(掛合総合C)

掛合町入間地区 県道整備について

Q369

県道の整備についてだが、自分も地権者として土地を提供することは惜しまないので何としても入間地

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

区のために県道を整備していただきたい、ということを市長さんに申し上げる。

A：地元の意向を受け止め、みなさんと協議しながら実現に向けて努力していきます。（市長）

掛合町入間地区 寺谷ふるさと農道の整備について

Q370

寺谷ふるさと農道の整備についてどうなっているか。

A：平成16年度から平成19年度の4年間で整備をする計画でしたが、財政非常事態宣言が出されている中でなかなか進めていくことができない状況です。

特に中山間地域においては、農道・林道が生活に直結するので何とかしたいと思っています。

現在の状況としては、総延長430mの路線で290mは完成しており、平成20年度は休止とし、残り140mを平成21年度に完成を目指し部内協議を行い、5月に地元説明会を行っています。

（産業振興部）

掛合町入間地区 流雪溝の整備について

Q371

合併前から流雪溝の整備についてお願いをしており、旧掛合町が「合併したらすぐに整備できる」と言われたがまだできていない。早期の整備を望む

A：整備を望んでいる箇所は、水路が複雑に入り組んでいますが、たしかに流雪溝の要望の話は聞いています。

ただ、掛合町内においても道路整備を望む箇所が多く、予算的にもなかなか全て対応できない状況であるため、早急な対応が必要である箇所を優先的に行っています。

しかし、本件に関しては早急な対応が必要であると思われるので調査を行い対応していきます。

（掛合総合C）

掛合町入間地区 水害復旧工事について

Q372

2年前の水害の際には公民館に住民を避難させるために消防団の方等に変にお世話になった。だが、市役所職員も常駐していたが住民の家も分からない状況であった。本庁との連絡体制についても、避難場所から総合センターに問い合わせ等しても本庁に確認をしてから返答するなど急を要するようなことに時間がかかり過ぎている。災害時に行政の機能がキチンとするような体制づくりをしっかりとやっておいていただきたい。その2年前の水害の復旧工事は終わったのか。

A：建設部で所管する市道・河川の災害については、平成17年度は全て復旧しています。

去年の災害についてはまだ終わっていない箇所もあります。（建設部）

A：農林関係については全て終わっています。（産業振興部）

加茂町(大崎猪尾・銅鐸の里岩倉・中山団地) 加茂庄原線整備について

Q373

加茂庄原線について出来るだけ早く整備いただきたい。いつ整備できるのか計画の目途をお示しいただきたい。

A：加茂庄原線については、21年度完了を目指したいと考えております。（建設部）

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

木次町三新塔地区 道路改良について

Q374

28区の住宅地に隣接する市道は、狭隘で案内川の改修と共に拡幅が急務である。木次駅前南側踏み切り（旧難波石油側）から30区～29区～28区に接する市道は消防車の往来も困難な状況であり、拡幅が喫緊の課題である。

A：ご指摘の路線は、市道「新市里方線」のことと存じます。「新市里方線」の拡幅改良につきましては、平成17年度に新塔地区連合自治会から陳情が、また18年度には26区自地会から地域要望として提出されており、回答させていただいております。

当初、まちづくり総合支援事業での実施を検討しておりましたが、主には財政上の理由から事業の見直しを余儀なくされ、本事業期間内の18年度までに実施することができませんでした。今後、雲南市全体の道路整備計画の中で、財政状況を勘案しながら検討する予定です。（建設部）

木次町斐伊地区 共和、中組、朝日地区を中心とした道路整備を

Q375

市道中組共和線及び木次線沿い市道及び県道木次～松江線又菟原自治会から尾崎踏切に至る、線路を挟んで内側、外側、共和～学校線、旧里熊橋から大東方面等、朝夕の通勤時間帯における交通量は異常な量で、改善する努力をお願いしたい。

A：本地域は各種事業所、公的機関等が集中する地域であり、交通量の多い地域と認識しております。市といたしましては、現在事業中の三刀屋地内の国道54号三刀屋4車線拡幅の進捗を図っており、引き続き里熊方面への4車線拡幅の事業延伸の要望を国に行っています。

これに伴い主要地方道松江木次線が国道へ取り付く変則交差点であります里方交差点を十字交差点化することにより渋滞緩和が図られます。里方地域の道路ネットワークは国道54号、里方交差点の改良後に状況を見極め地元の皆様と協議を行いながら進めてまいります。（建設部）

A：共和中組朝日を中心とした道路整備について、国道54号線の4車線化に併せて県道松江木次線の変則交差点を改良することで、幹線に進入しやすくするということが先決だと思っています。4車線化に併せた県道の改良工事について青写真はできていますが、具体的になったときには地域にお示し、ご意見を頂きたいと思っております。（市長）

木次町斐伊地区 市民バスの運行見直しについて

Q376

市民バスはいつも一人か二人しか乗っていない。いくら福祉政策の一環とはいえ予算の無駄ではないか。

A：よく解る予算書にも記載されているとおり今年度は約2億の予算を投入しています。昨年度の段階で一便あたり一人未満乗車の便については削減させて頂きました。毎年見直しを行っており、今年度は新たな交付金を頂きながら公共交通対策協議会を設置して検討を重ねております。（政策企画部）

木次町下熊谷地区 街路樹の設置について

Q377

中央線に街路樹を設置予定とのことだが、廻りが緑だらけのところでは必要なのか。その予算を他にまわした方が良くはないか。大木であれば20年も経てば地割れにより歩道がおかしくなる。

A：大木は必要ではないと考えますが、景観にはいいということで街路樹は計画しています。樹木の選定については地元で選定をお願いしていますがおっしゃるようにこれからの時代は、経済性の面も重視して計画をしていきたいと思っております（建設部）

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

木次町温泉地区 護岸整備について

Q378

上流部は護岸整備がされてきれいになったが下流部は整備がされていない。平田付近は県管理であるが、しっかりと整備してほしい。

A：国の直轄地点までは護岸整備を行う予定です。下流は整備が必要な区間がありますが県の公共工事も厳しい中ではありますが要望していきたいと思います。（政策企画部）

大東町春殖地区 玉湯吾妻山線の大東工区春殖地内のルートと開設時期について

Q379

一昨年と昨年の回答では県と早急に協議して回答したいとの事であったがその後の返答がない。地方の時代・地区の時代で、市は地区の振興のお手伝いをしますと言われるが、一向に回答がなくては次の計画ができないので早期に示してもらいたい。

A：主要地方道玉湯吾妻山線の大東工区春殖地内のルートと開設時期については、現在のところ、出雲大東線から松江間については、かなりの費用がかかることから、できるところから断片的整備となっています。

現在継続しているところを仕上げていくことがひとつと、休止工区をやっていこうということで現在来ています。したがって新しい工区は先ほどの目処がついた時点で考えると聞いています。

市も要望していますが皆さんと一緒に県に出かけて要望する機会もつくっていったらと思っています。

一気にできるとは行かないかもしれませんが、局部的にでもできることがあるかもしれませんのでそうした場を持ちたいと考えておりますのでご理解をお願いします。（建設部）

大東町塩田地区 高齢者が安心して暮らせる地域づくり(道路整備関係)

Q380

道路事情、緊急車両の問題である。若干奥であるので時間がかかる。お年寄りの安心安全な地域づくりということで、お聞かせいただきたい

A：先ほど緊急車両等の道路事情が悪いということですが、この地域は一般県道の上久野大東線が中心となって集落ができています。当然この道路は皆さんにとって大変重要な道路であると認識していますが、全体的に幅員が狭いしカーブも多いということで合併前より県に要望を行ってきています。

県ではいくらか改良もされていますが、未改良区間はまだまだ多い現状です。この路線は、以前、県が清田工区の改良を計画され、一部用地買収が終わっている状況もありますが、県の財政が厳しい状況の中、現在のところ事業が休止という状況です。今後、当初2車線での計画で、前の川の方へでいく計画であったように思いますが、現在の県の財政状況ではなかなかそまでの改良は難しい状況があり、

1.5車線改良やカーブ区間の拡幅、待避所の改良など局部的な改良を県は考えておられます。皆さんからそこらへんも聞かせていただいて、改良の緊急性、あるいは必要性を考えながら事業を実施したいと県は考えておられます。今後も皆さんと一緒に県へ要望していきたいと考えます。（建設部）

大東町塩田地区 県道上久野大東線改良及び除雪について

Q381

県道上久野大東線について、公民館から上が特に狭くカーブが多い。冬季には雪が多い所であり除雪をするとさらに狭くなる。対向車同士で、お互いに下がりなさいと言うような、また、下がれば片方が何キロも下がらなければならない状況がある。そういったことで待避所を所々作っていただき、将来はその待避所と待避所を結んで幅員を広くしていただき、そういったことを要望したい。次に上久野大東線は路線バスが通っている関係で冬季に除雪をしていただいているが、川井箱淵線は昔と違って道路も良くなって交通量が多くなっ

平成20年度市政懇談会質疑（項目別）まとめ

てきているが、冬になると除雪がなされない。対向車がかち合った時に大変なので除雪を願いたい。

A：上久野大東線の改良について、建設部長が1.5車街道というような事を言いましたが、1.5車街道というのは、将来的には待避所をつなげて行くということも中には入った計画です。地元の皆さんに考えていただきたいのは、本当に予算が少なくなってきた状況であるので、長い距離の中でどこに待避所が必要なのかという事を、重点的に考えられ要望されたらどうかと、私個人的にはそう思います。次に川井箱淵線の除雪ですが、市として限られた予算の中でバス路線を優先して除雪をしています。今年の除雪の計画を立てられることがありますが、予算の範囲以内の中で検討していきたいと考えています。（大東総合C）

大東町久野地区 主要地方道安来木次線の木次・久野境の除雪について

Q382

主要地方道安来木次線の木次・久野境について、降雪時、久野部分が除雪されても木次部分が除雪されていない場合が多く、同じ市内であるので同時に除雪してもらいたい。

A：県道の除雪は、雲南県土整備事務所が担当しておられ、基本的に積雪15cm以上で実施することとされており、地区ごとに業者に除雪エリアを割り振って除雪をしていただいております。久野地区から県道木次横田線交点までの区間は、これまで久野エリアの業者が除雪するよう割り振られていますが、木次町と大東町の境付近で県道と交差する鉄道高架が低いため除雪機械が通れず、この場所でUターンしていたため除雪しきれていなかった模様です。今後、雲南県土整備事務所では、両側から除雪するように業者の受け持ち区間を見直し、より効果的な除雪計画となるよう検討を進めているとのことですし、市としても（除雪）機械を持った業者が少なくなり、早期対応について懸念していますが、県と連携して取り組んで参りますのでご理解をお願いします。（建設部）

大東町久野地区 段原工区の安来木次線改良工事について

Q383

JRとの話しがついてからと聞いているが、JRとの話はついたのか。

A：雲南県土整備事務所に確認したところ、JR踏切や保安林、電柱のことで手間取っておられるようです。入札は、年内に行われるかもしれませんが、年が明けてから切土の準備をして本格的に切り取りが始まるのは3月頃と伺っています。（建設部）